【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和4年4月27日(2022.4.27)

【国際公開番号】WO2021/149142
【出願番号】特願2021-572157(P2021-572157)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　1/24(2011.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/24

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月14日(2022.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示に係る空気調和機の室外機は、送風機室と、前記送風機室から仕切られた機械室と、第１部分が前記送風機室に設けられ、第２部分が前記機械室に設けられた電装品ユニットと、を備え、前記電装品ユニットは、区画壁により内部の空間が前記第１部分側と前記第２部分側とに区画された固定枠と、前記固定枠に固定された制御基板と、前記制御基板の下面に組み付けられ、前記第１部分側の前記固定枠と、前記区画壁と、により形成された固定穴に嵌め込まれた放熱部材と、前記固定枠の壁面と交差する方向に延びる面を有し、前記放熱部材を保護する保護板金と、を備え、前記保護板金は、長方形状を有し、前記第１部分側の前記固定枠を囲うように、前記第１部分側の前記固定枠の外周側に取り付けられており、前記第１部分側の前記固定枠の短手方向の前記壁面には、第１貫通穴が形成されており、前記保護板金の前記面には、前記保護板金の前記面の長手方向に沿って第２貫通穴が形成されており、前記保護板金の前記面の前記長手方向は、平面視において、前記第１貫通穴が形成された前記第１部分側の前記固定枠の前記短手方向の前記壁面と交差する方向に延びる方向であり、前記第２貫通穴が、前記第１貫通穴よりも下方に位置し、前記第１貫通穴と連通している。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
送風機室と、
前記送風機室から仕切られた機械室と、
第１部分が前記送風機室に設けられ、第２部分が前記機械室に設けられた電装品ユニットと、を備え、
前記電装品ユニットは、
区画壁により内部の空間が前記第１部分側と前記第２部分側とに区画された固定枠と、
前記固定枠に固定された制御基板と、
前記制御基板の下面に組み付けられ、前記第１部分側の前記固定枠と、前記区画壁と、により形成された固定穴に嵌め込まれた放熱部材と、
前記固定枠の壁面と交差する方向に延びる面を有し、前記放熱部材を保護する保護板金と

、を備え、
前記保護板金は、長方形状を有し、前記第１部分側の前記固定枠を囲うように、前記第１部分側の前記固定枠の外周側に取り付けられており、
前記第１部分側の前記固定枠の短手方向の前記壁面には、第１貫通穴が形成されており、
前記保護板金の前記面には、前記保護板金の前記面の長手方向に沿って第２貫通穴が形成されており、
前記保護板金の前記面の前記長手方向は、平面視において、前記第１貫通穴が形成された前記第１部分側の前記固定枠の前記短手方向の前記壁面と交差する方向に延びる方向であり、
前記第２貫通穴が、前記第１貫通穴よりも下方に位置し、前記第１貫通穴と連通している
空気調和機の室外機。
【請求項２】
前記第１貫通穴は、前記第１部分側の前記固定枠の壁面のうち、対向する一対の壁面のそれぞれに形成されている
請求項１に記載の空気調和機の室外機。
【請求項３】
前記第２貫通穴から最も近い前記第１部分側の前記固定枠の壁面は、前記第１貫通穴が形成された前記第１部分側の前記固定枠の壁面と、角部を挟んで隣接している
請求項１又は２に記載の空気調和機の室外機。
【請求項４】
前記固定枠及び前記保護板金は、
前記第１貫通穴と、前記第２貫通穴とを連通する流路を構成している
請求項１～３のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。
【請求項５】
前記保護板金は、前記面の外周縁に前記面と交差する方向に延びるフランジ部を有し、
前記フランジ部が、前記第１貫通穴と、前記第２貫通穴とを連通する流路の一部を構成している
請求項１～４のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。
【請求項６】
前記電装品ユニットは、
前記送風機室と、前記機械室とを仕切る仕切り板の上端部に固定されている
請求項１～５のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。
【請求項７】
前記送風機室に設けられた送風機及び熱交換器と、
前記機械室に設けられた圧縮機と、
を更に備えた
請求項１～６のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。